

30日死者の状況

1 県下と全国の発生状況

○ 県下

死者	区分	12月中		12月末			
		増減	比率	増減	比率		
	24時間死者	12	±0	1.00	109	+6	1.00
	30日死者	4	+1	0.33	33	+1	0.30
	30日以内死者	16	+1	1.33	142	+7	1.30

○ 全国

死者	区分	11月中		11月末			
		増減	比率	増減	比率		
	24時間死者	248	-6	1.00	2,376	-2	1.00
	30日死者	63	+2	0.25	490	-21	0.21
	30日以内死者	311	-4	1.25	2,866	-23	1.21

注：1 「30日死者」とは、事故発生から24時間経過後30日以内に死亡した人をいう。

2 「30日以内死者」とは、「24時間死者」と「30日死者」の合計で、警察統計の交通事故全死者をいう。

3 比率とは、「24時間死者」に対する比率で、「24時間死者」の〇〇倍と表す。

2 概要

12月末の県下の「30日死者」は33人（+1人）、「24時間死者」は109人（+6人）で、これらをあわせた「30日以内死者」は142人（+7人）であり、「24時間死者」の1.30倍となっている。

3 特徴（30日死者の構成率）

- 地区別 神戸10人（30.3%）、阪神10人（30.3%）、東播5人（15.2%）、西播5人（15.2%）、高速3人（9.1%）で発生している。
- 状態別 歩行中16人（48.5%）、自動車乗車中5人（15.2%）、自動二輪乗車中5人（15.2%）、自転車乗用中4人（12.1%）、一般原付乗車中3人（9.1%）となっている。
- 年齢層別 65歳以上が21人（63.6%）、25~64歳が10人（30.3%）、16~24歳が2人（6.1%）となっている。
- 経過日数別 10日以内の死亡が19人（57.6%）となっている。
- 損傷部位別 頭部の損傷が22人で、66.7%となっている。